

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 7 月 20 日 (2017.7.20)

【公表番号】特表 2016-503112 (P2016-503112A)

【公表日】平成 28 年 2 月 1 日 (2016.2.1)

【年通号数】公開・登録公報 2016-007

【出願番号】特願 2015-551154 (P2015-551154)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2/00 (2006.01)

C 0 8 F 2/34 (2006.01)

C 0 8 F 10/02 (2006.01)

C 0 8 F 4/654 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 2/00 F

C 0 8 F 2/34

C 0 8 F 10/02

C 0 8 F 4/654

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 6 日 (2017.6.6)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エチレン重合体を調製する工程であって、

必要に応じて、式 $\text{CH}_2 = \text{CHR}$ （ここで、R は水素または 1 ~ 12 個の炭素原子を有する炭化水素ラジカルである）で表される 1 種以上の α -オレフィンと共に、

(i) チタン、マグネシウム、ハロゲンからなり、必要に応じて内部電子供与体化合物 (ID) を含む固体触媒成分 (cat)、

(ii) アルミニウムアルキル化合物 (alk)、及び

(iii) 少なくとも 2 つの遊離ヒドロキシル基を有するヒドロキシエステルの中から選択された帯電防止化合物 (AA)

の存在下でエチレンを重合するステップを含み、

アルミニウムアルキル化合物と固体触媒成分との重量比 (alk / cat) が 0.80 超 1.5 未満であり、帯電防止化合物とアルミニウムアルキル化合物との重量比 (AA / alk) が 0.10 を超えており、重量比 AA / cat は 0.05 ~ 0.50 の範囲内である、工程。

【請求項 2】

前記帯電防止化合物 (AA) は、モノステアリン酸グリセロールまたはモノパルミチン酸グリセロールである、請求項 1 に記載の工程。

【請求項 3】

他の帯電防止化合物に該当する、式 $\text{R} - \text{N}(\text{CH}_2\text{CH}_2\text{OH})_2$ （ここで、R はアルキルラジカル C12 - C18 である）で表されるアルキルジエタノールアミンの混合物の存在下で行われる、請求項 1 又は請求項 2 に記載の工程。

【請求項 4】

気相で行われる、請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか一項に記載の工程。

【請求項 5】

カスケード式の複合気相反応器で行われる、請求項 1 ~ 請求項 4 のいずれか一項に記載の工程。

【請求項 6】

流動床気相反応器が相互連結される 2 つの重合区域を有する気相反応器に連結されるか、或いは第 1 流動床気相反応器が第 2 流動床気相反応器に連結される、請求項 5 に記載の工程。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 4】

重量比 AA / alk は 0 . 1 1 以上が好ましく、0 . 1 2 以上がさらに好ましい。重量比 AA / alk は、1 . 0 未満が適切である。